

第9章 アンケート調査

9. アンケート調査

9.1 アンケート調査の概要

9.1.1 アンケート調査の目的

全国的に、人口の減少（ヒト）、下水道施設の老朽化による更新需要増加（モノ）、使用料収入の減少（カネ）が進行し、下水道経営環境が悪化する中で、「令和 8 年度末までの早期の汚水処理概成（10 年概成）」及び「20～30 年先を見通した持続可能な汚水処理」の時間軸を考慮した下水道整備が求められている。

上記のような社会情勢を踏まえ、平成 28 年度には、福岡県汚水処理構想の見直しが行われ、本市においても 10 年概成に向けた整備が進んでいるところである。

今回、令和 3 年度に 10 年概成の中間年次を迎えたことを受け、国からアクションプランの点検と、目標達成困難な場合の見直しが要請されており、福岡県においても令和 6 年度中の汚水処理構想のとりまとめが予定されている。本市としても現在の下水道整備状況を踏まえ、福岡県の汚水処理構想のとりまとめに先立ち、住民意向を踏まえた検討を進め、将来的にも真に下水道施設が必要な地域を選定する必要がある。

令和 4 年度において、本市の下水道整備状況は、全体計画面積 1,786ha に対して整備済面積は 566ha となっており、未整備区域が 1,220ha と膨大に残っている。そのため、10 年概成に向けて、住民アンケートを実施することで市民の皆様の下水道に対するニーズを確認し、今後の整備計画に反映させていくことを目的として実施した。

9.1.2 アンケート調査の方法

(1) 調査期間

アンケート発送日からアンケート締切日までの調査期間は、令和 4 年 11 月 7 日～令和 4 年 12 月 2 日である。

(2) 調査対象区域

調査対象区域は、下水道全体計画区域内の下水道未整備区域である。調査対象区域の位置図を次頁に示す。

(3) 調査方法

調査方法は、郵送によるマークシート式アンケート及び自由記述である。

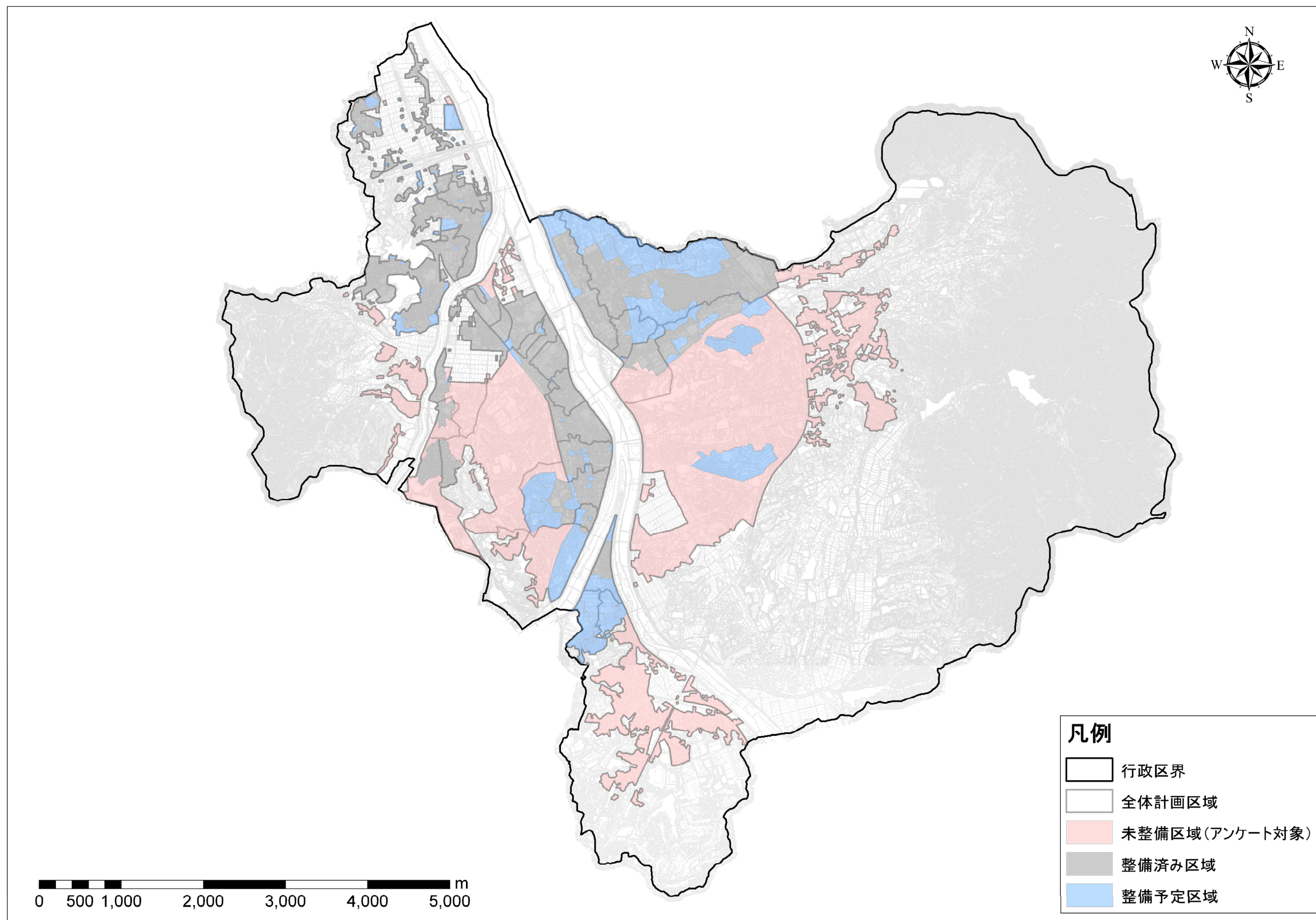


図 9.1 調査対象区域位置

9.1.3 アンケート調査対象

アンケートは一般住居用と事業所用に分け、建物の所有者の名前が人名の場合は、一般住民とみなし一般住居用のアンケートを、事業所の名前の場合は事業者とみなし事業所用のアンケートを発送した。

一般住居用は、本市住民基本台帳データより、対象区域（未整備区域）の集合住宅を除いた家屋の世帯主を対象とした。なお、1つの家屋に複数の世帯主が存在する場合は、以下の抽出方法により対象者を選定した。

【アンケート調査対象の抽出方法】

- (1) 住民基本台帳の名字とゼンリン住宅地図の建物面の名字が全て一致している場合は、複数の世帯主のうち、1人の世帯主を対象とする。
- (2) 住民基本台帳の名字とゼンリン住宅地図の建物面の名字が1人以上一致している場合は、複数の世帯主のうち、名字が一致している1人の世帯主を対象とする。
- (3) 住民基本台帳の名字とゼンリン住宅地図の建物面の名字が全て異なる場合は、現在誰が世帯主か判断できないため、全世帯主を対象とする。
- (4) 二世帯住宅の場合は、どちらか一方の世帯主を対象とする。

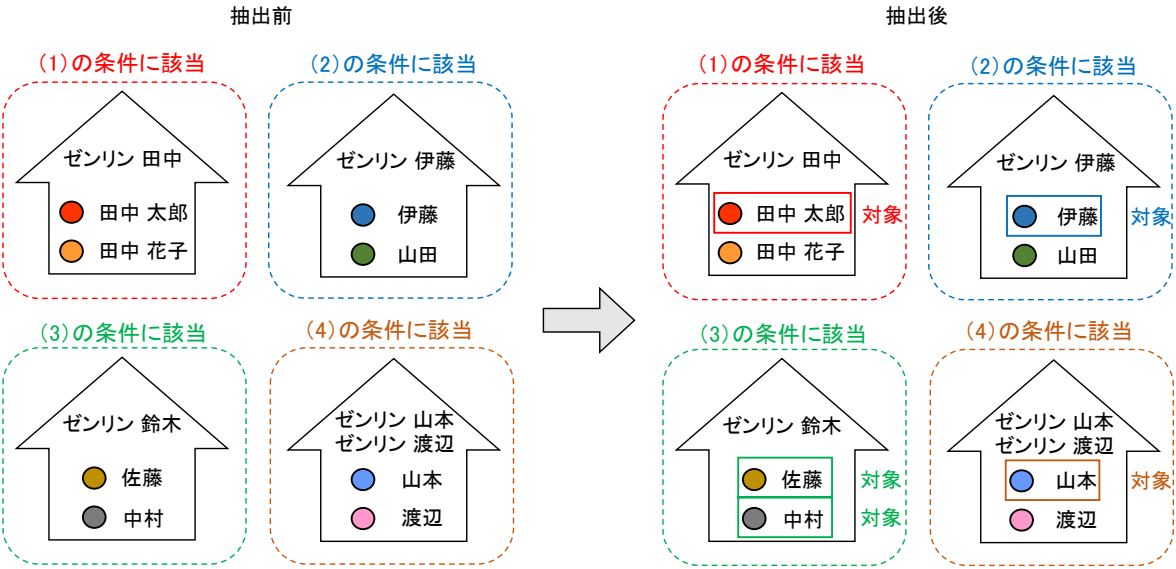


図 9.2 アンケート調査対象の抽出方法（例）

表 9.1 アンケート調査対象の抽出結果（例）

住民基本台帳	田中 太郎	田中 花子	伊藤	山田	佐藤	中村	山本	渡辺
対象	○	×	○	×	○	○	○	×

事業所用は、対象区域（未整備区域）の一般住居で対象とした世帯主や、住所が重複している建物を除いた事業所を対象とした。なお、無人の事業所や公共施設等は調査対象外とした。

送付件数は、一般住居用が 5,830 件、事業所用が 465 件の合計 6,295 件である。ただし、所有者不在等の理由で発送先に届かなかった件数が 61 件あり、そのうち一般住居用が 24 件、事業所用が 37 件であった。したがって、実際に発送したアンケートは、一般住居用が 5,806 件、事業所用が 428 件の合計 6,234 件である。発送件数について、整理したものを表 9.2 に示す。

表 9.2 アンケート送付件数のまとめ

項 目	送付件数 ①	不着件数 ②	送付件数（確定） ③=①-②
一般住居	5,830	24	5,806
事 業 所	465	37	428
合 計	6,295	61	6,234

9.1.4 アンケート内容

マークシート式アンケート調査の内容は、一般住居向けと事業所向けの 2 種類とし、それぞれの質問内容は以下のとおりである。

表 9.3 マークシート式アンケート内容（一般住居向け）

項 目	内 容
質問 1	家族は何人ですか？
質問 2	世帯主の方は何歳代ですか？
質問 3	あなたの家のし尿の処理方式はどれですか？
質問 4	質問 3 で「浄化槽」を選択した方にお尋ねします。浄化槽の種類は何ですか？（H13.4.1 以降の設置は合併浄化槽です。）
質問 5	質問 3 で「浄化槽」を選択した方にお尋ねします。浄化槽を設置してから何年くらい経過していますか？
質問 6	全ての方にお尋ねします。お住まいの地域に下水道が整備された場合、下水道への速やかな接続を希望されますか？

表 9.4 マークシート式アンケート内容（事業所向け）

項 目	内 容
質問 1	事業所の従業員数を記入してください。
質問 2	事業所のし尿の処理方式を記入してください。 (H13.4.1 以降の設置は合併浄化槽です。)
質問 3	質問 2 で「単独浄化槽」「合併浄化槽」を選択した方にお尋ねします。浄化槽の処理人員を記入してください。
質問 4	質問 2 で「単独浄化槽」「合併浄化槽」を選択した方にお尋ねします。浄化槽を設置してから何年くらい経過していますか。
質問 5	全ての事業所の方にお尋ねします。事業所のある地域に下水道が整備された場合、下水道への速やかな接続を希望されますか？

9.1.5 アンケート回収結果

回収できたアンケート件数は、一般住居用が 3,242 件、事業所用が 215 件であり、全体で 3,457 件であった。今回の調査によるアンケートの回収率は、表 9.5 に示すとおり、約 56%であった。

表 9.5 アンケート回収率

項 目	送付件数 ①	回収件数 ②	回収率 ③=②/①
一般住居	5,806	3,242	55.8%
事業所	428	215	50.2%
合 計	6,234	3,457	55.5%

9.1.6 行政区別アンケート回収結果

行政区別のアンケート回収率の結果を表 9.6 に示す。

表 9.6 行政区別アンケート回収率

項 目	行政区	送付件数 ①	回収件数 ②	回収率 ③=②/①
一般住居	直方	166	97	58.4%
	山部	708	387	54.7%
	上新入	633	368	58.1%
	下新入	165	93	56.4%
	植木	79	54	68.4%
	感田	296	168	56.8%
	頓野	1,798	1,069	59.5%
	上頓野	715	417	58.3%
	下境	762	336	44.1%
	中泉	464	239	51.5%
	金田屋敷	20	14	70.0%
計		5,806	3,242	55.8%
事業所	直方	3	3	100.0%
	山部	40	11	27.5%
	上新入	73	41	56.2%
	下新入	12	8	66.7%
	植木	1	1	100.0%
	感田	23	12	52.2%
	頓野	147	75	51.0%
	上頓野	41	24	58.5%
	下境	62	25	40.3%
	中泉	25	15	60.0%
	金田屋敷	1	0	0.0%
計		428	215	50.2%
合計		6,234	3,457	55.5%

※一般住居の送付件数が 10 件未満の行政区については、個人特定の恐れがあるため、隣接する行政区と統合して集計を行った。

9.2 集計結果

アンケートの回答を得た 3,457 件について各質問の回答結果を以降に示す。なお、質問内容が一部異なることから、一般住居と事業所に分けて集計結果を示す。

9.2.1 一般住居

(1) 質問 1. 家族は何人ですか？

一般住居の世帯人数は 2 人世帯が最も多く、その割合は約 40%であり、次いで 1 人世帯が約 23%を占めている。

表 9.7 一般住居の世帯人員数

行政区												合計
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	未記入	
直方	24	49	9	7	7	0	0	0	0	0	1	97
山部	111	162	72	23	11	3	3	1	0	0	1	387
上新入	99	144	56	39	21	5	2	1	1	0	0	368
下新入	23	39	11	11	4	3	0	1	1	0	0	93
植木	21	19	7	5	1	1	0	0	0	0	0	54
感田	26	76	29	22	7	5	2	0	0	0	1	168
頓野	212	414	181	149	76	25	8	1	1	0	2	1,069
上頓野	73	167	81	57	27	10	2	0	0	0	0	417
下境	100	132	56	27	12	5	3	0	0	0	1	336
中泉	65	94	43	19	13	4	0	1	0	0	0	239
金田屋敷	5	6	0	1	0	1	1	0	0	0	0	14
合計	759	1,302	545	360	179	62	21	5	3	0	6	3,242
割合	23.4%	40.2%	16.8%	11.1%	5.5%	1.9%	0.6%	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	100.0%

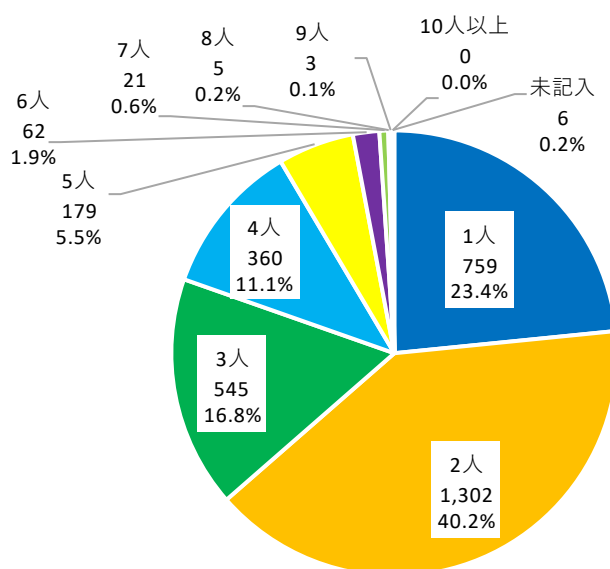


図 9.3 一般住居の世帯人員数

(2) 質問 2. 世帯主の方は何歳代ですか？

世帯主が 70 歳代の世帯が約 30%と最も多く、次いで 80 歳代以上が約 22%を占めており、60 歳代以上が約 73%を占めている。

表 9.8 一般住居の世帯主年齢

行政区									合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未記入	
直方	1	3	7	7	20	37	21	1	97
山部	2	17	25	44	92	122	84	1	387
上新入	1	12	30	47	84	101	93	0	368
下新入	0	1	10	11	15	31	25	0	93
植木	1	0	3	8	10	18	14	0	54
感田	1	8	20	19	31	58	31	0	168
頓野	7	55	131	126	206	298	246	0	1,069
上頓野	5	25	52	46	86	127	76	0	417
下境	1	10	33	37	79	107	68	1	336
中泉	3	6	15	28	50	81	56	0	239
金田屋敷	0	1	0	2	3	7	1	0	14
合計	22	138	326	375	676	987	715	3	3,242
割合	0.7%	4.3%	10.1%	11.6%	20.9%	30.2%	22.1%	0.1%	100.0%

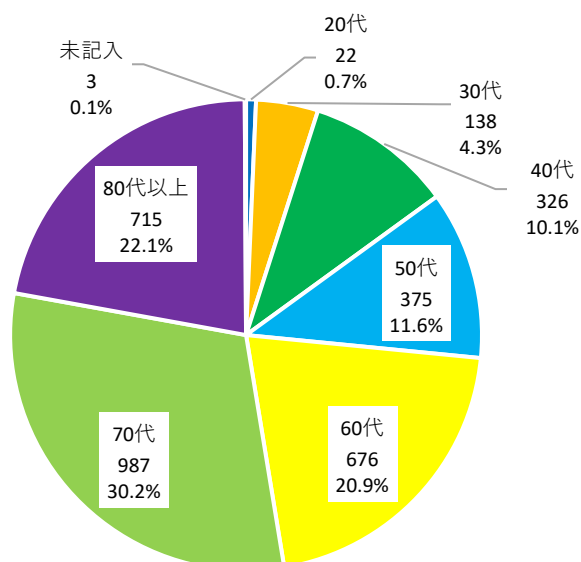


図 9.4 一般住居の世帯主年齢

(3) 質問3. あなたの家のし尿の処理方式はどれですか？

質問4. 浄化槽の種類は何ですか？

処理方式はくみ取り式が最も多く、その割合は約 62%であり、次いで合併浄化槽が約 22%を占めている。

表 9.9 処理方式の種類

行政区							
	くみ取り ①	浄化槽				未記入 ⑥	合計 ⑦=①+⑤+⑥
		単独浄化槽 ②	合併浄化槽 ③	わからない ④	⑤=②+③+④		
直方	73	5	13	5	23	1	97
山部	270	41	61	14	116	1	387
上新入	266	34	46	21	101	1	368
下新入	42	24	18	9	51	0	93
植木	46	1	5	2	8	0	54
感田	96	15	50	6	71	1	168
頓野	581	143	286	56	485	3	1,069
上頓野	182	53	156	26	235	0	417
下境	253	29	43	10	82	1	336
中泉	197	16	20	6	42	0	239
金田屋敷	8	3	1	1	5	1	14
合計	2,014	364	699	156	1,219	9	3,242
割合	62.1%	11.2%	21.6%	4.8%	37.6%	0.3%	100.0%

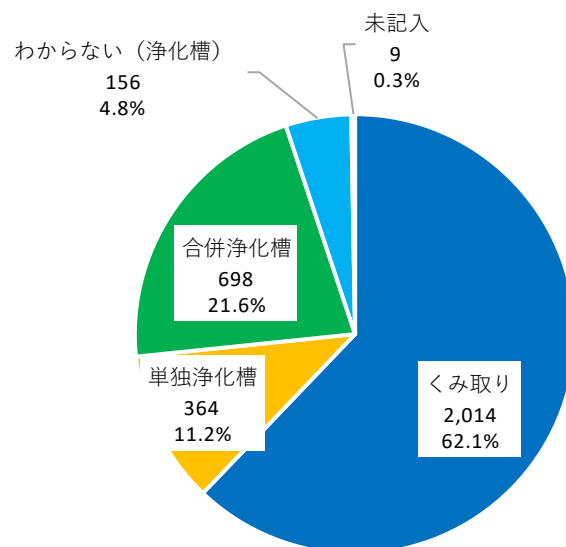


図 9.5 一般世帯の処理方式の種類

(4) 質問 5. 浄化槽を設置してから何年くらい経過していますか？

浄化槽を設置している一般住居の 1,219 世帯のうち、16 年以上が経過している一般住居が一番多く、約 51%を占めている。一般的な浄化槽の機器設備類の耐用年数 15 年を超過しているため、老朽化が進んでいることが考えられる。

表 9.10 一般世帯の浄化槽の経過年数

行政区						合計
	0～5年	6～10年	11～15年	16年以上	未記入	
直方	2	5	3	13	0	23
山部	13	20	21	62	0	116
上新入	21	18	14	44	4	101
下新入	4	1	5	39	2	51
植木	1	2	1	4	0	8
感田	15	16	5	33	2	71
頓野	92	100	68	225	0	485
上頓野	40	21	26	144	4	235
下境	18	16	17	29	2	82
中泉	7	3	7	25	0	42
金田屋敷	0	2	2	1	0	5
合計	213	204	169	619	14	1,219
割合	17.5%	16.7%	13.9%	50.8%	1.1%	100.0%

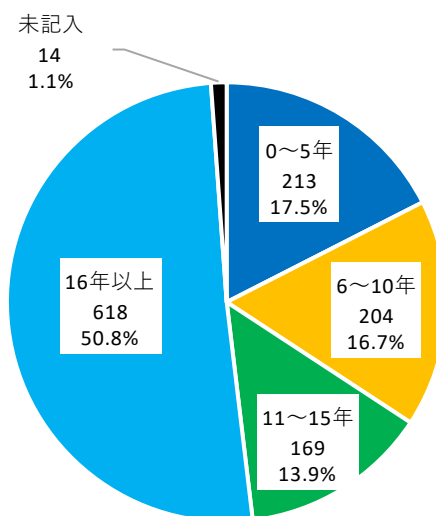


図 9.6 一般世帯の浄化槽の経過年数

(5) 質問 6. お住まいの地域に下水道が整備された場合、下水道への速やかな接続を希望されますか？

a) 全体

接続を希望する一般住居は約 37%、希望しない一般住居は 59%であり、希望しない世帯の方が多い。なお、接続希望が未記入でも自由記述欄に接続希望の有無を回答された方がいるが、本集計ではマークシート結果のみを反映している。

表 9.11 一般世帯の接続希望の有無

項目	希望する	希望しない	未記入	合計
世帯数	1,197	1,911	134	3,242
割合	36.9%	59.0%	4.1%	100.0%

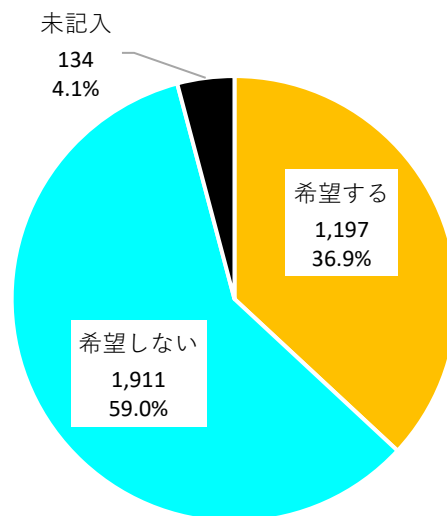


図 9.7 一般世帯の接続希望の有無

b) 行政区別

行政区別の接続を希望する世帯は、感田が 50%と半数を占めているが、その他の行政区では希望しない世帯の方が多い。

表 9.12 一般世帯の行政区別接続希望の有無

行政区				合計	希望する割合	希望しない割合
	希望する	希望しない	未記入			
直方	37	54	6	97	38.1%	55.7%
山部	127	241	19	387	32.8%	62.3%
上新入	117	237	14	368	31.8%	64.4%
下新入	24	63	6	93	25.8%	67.7%
植木	20	33	1	54	37.0%	61.1%
感田	84	78	6	168	50.0%	46.4%
頓野	420	608	41	1,069	39.3%	56.9%
上頓野	194	205	18	417	46.5%	49.2%
下境	93	225	18	336	27.7%	67.0%
中泉	79	155	5	239	33.1%	64.9%
金田屋敷	2	12	0	14	14.3%	85.7%
合計	1,197	1,911	134	3,242	36.9%	59.0%

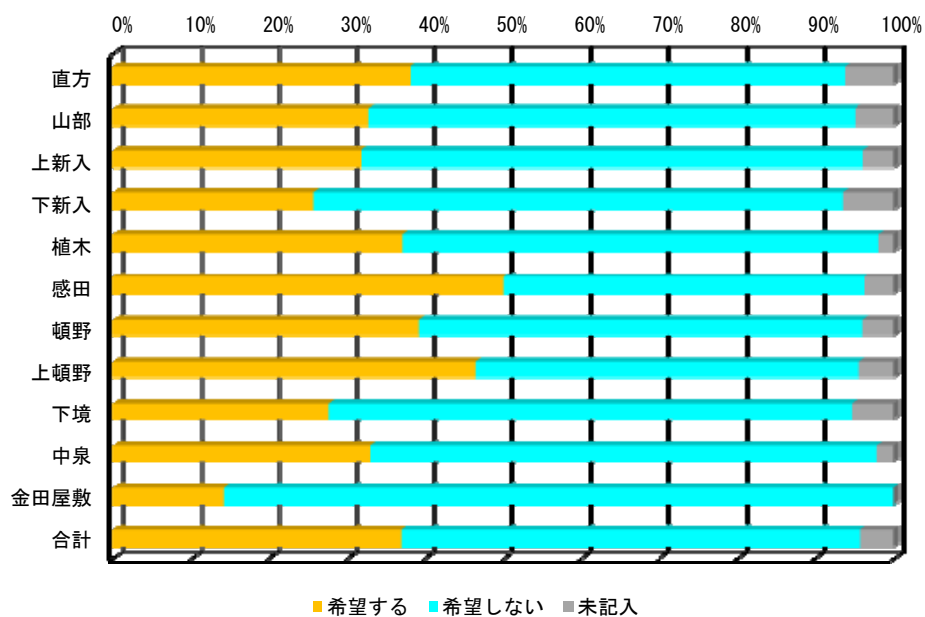


図 9.8 一般世帯の行政区別接続希望の有無

c) 年代別

年代別の接続を希望する世帯は、20代が約23%と最も少なく、50代及び60代が約40%近くの割合で接続を希望している。

表 9.13 世帯主の年代別接続希望の有無

年代				合計	希望する 割合	希望しない 割合
	希望する	希望しない	未記入			
20代	5	16	1	22	22.7%	72.7%
30代	48	85	5	138	34.8%	61.6%
40代	111	197	18	326	34.0%	60.4%
50代	148	213	14	375	39.5%	56.8%
60代	275	380	21	676	40.7%	56.2%
70代	365	585	37	987	37.0%	59.3%
80代以上	245	435	35	715	34.3%	60.8%
未記入	0	0	3	3	0.0%	0.0%
合計	1,197	1,911	134	3,242	36.9%	59.0%

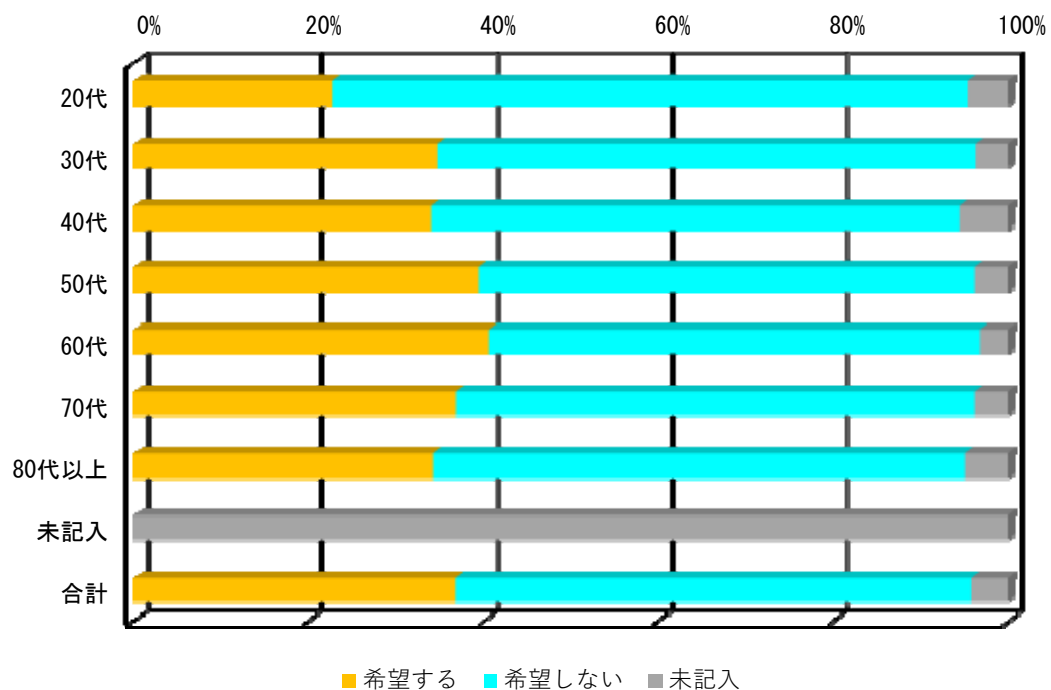


図 9.9 世帯主の年代別接続希望の有無

d) 処理方式別

処理方式別の接続を希望する世帯は、合併浄化槽の世帯が約 42%と最も多く、次いでくみ取りの世帯が約 37%、単独浄化槽の世帯が約 34%を占めている。

表 9.14 処理方式別の接続希望の有無

処理方式					合計	希望する割合	希望しない割合
		希望する	希望しない	未記入			
くみ取り		736	1,206	72	2,014	36.5%	59.9%
浄化槽	単独浄化槽	125	222	17	364	34.3%	61.0%
	合併浄化槽	290	380	29	699	41.5%	54.4%
	わからない	45	101	10	156	28.8%	64.7%
未記入		1	2	6	9	11.1%	22.2%
合計		1,197	1,911	134	3,242	36.9%	59.0%

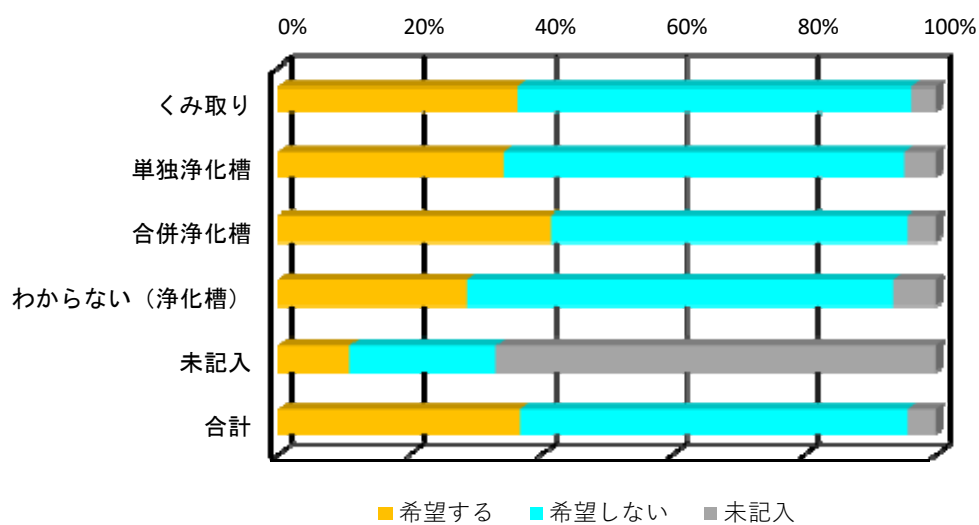


図 9.10 処理方式別の接続希望の有無

9.2.2 事業所

(1) 質問 1. 事業所の従業員数を記入してください。

従業員数が 1～5 人の事業所の数が最も多く、その割合は約 47%を占めている。

表 9.15 事業所の従業員数

行政区									合計
	1～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31～50人	51～100人	101人以上	未記入	
直方	2	1	0	0	0	0	0	0	3
山部	6	2	1	1	0	0	1	0	11
上新入	11	6	8	5	4	2	2	3	41
下新入	3	1	2	1	0	1	0	0	8
植木	0	1	0	0	0	0	0	0	1
感田	4	3	3	1	0	0	1	0	12
頓野	44	10	4	8	5	4	0	0	75
上頓野	10	8	0	4	0	1	0	1	24
下境	12	1	3	5	1	1	1	1	25
中泉	9	2	2	1	1	0	0	0	15
合計	101	35	23	26	11	9	5	5	215
割合	47.0%	16.3%	10.7%	12.1%	5.1%	4.2%	2.3%	2.3%	100.0%

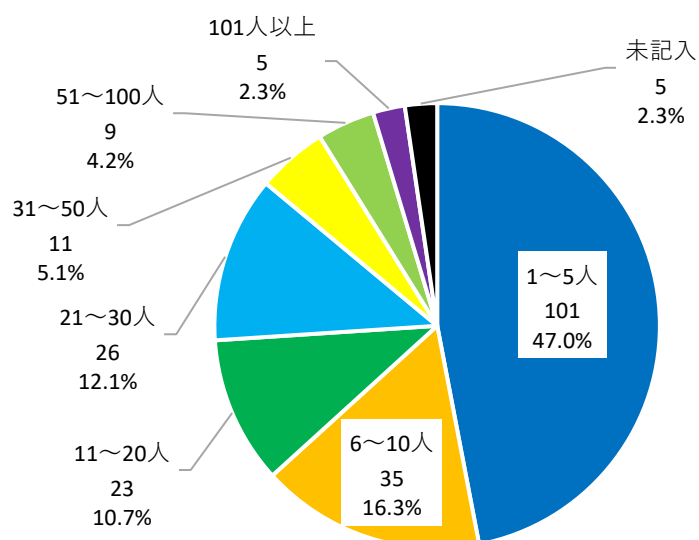


図 9.11 事業所の従業員数

(2) 質問 2. 事業所のし尿の処理方式を記入してください。

くみ取り式の事業所が最も多く、その割合は約 49%であり、次いで合併浄化槽が約 27%を占めている。

表 9.16 事業所の処理方式

行政区	くみ取り ①	浄化槽		未記入 ⑤	合計 ⑥=①+④+⑤
		単独浄化槽 ②	合併浄化槽 ③		
直方	3	0	0	0	3
山部	5	0	4	2	11
上新入	14	11	15	1	41
下新入	5	0	3	0	8
植木	0	0	1	0	1
感田	6	2	4	0	12
頓野	39	20	14	2	75
上頓野	10	5	8	1	24
下境	15	5	4	1	25
中泉	9	2	4	0	15
合計	106	45	57	7	215
割合	49.3%	20.9%	26.5%	3.3%	100.0%

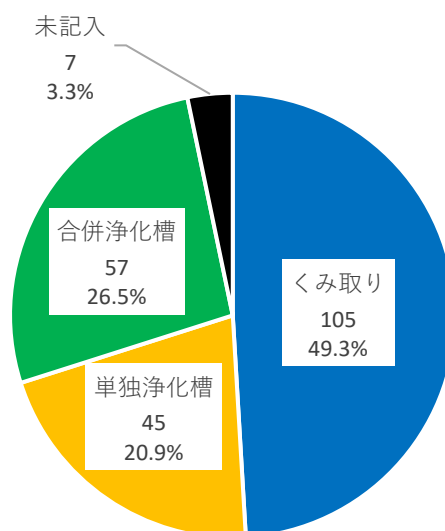


図 9.12 事業所の処理方式

(3) 質問3. 浄化槽の処理人員数を記入してください。

浄化槽を設置している事業所 102 件のうち、浄化槽の処理人員数は、6～10 人の事業所の割合が最も多く、約 24%を占めている。

表 9.17 事業所の浄化槽の処理人員数

行政区									合計
	1～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31～50人	51～100人	101人以上	未記入	
直方	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山部	0	1	1	1	0	0	1	0	4
上新入	3	4	6	5	3	2	2	1	26
下新入	0	0	2	1	0	0	0	0	3
植木	0	1	0	0	0	0	0	0	1
感田	0	1	1	1	0	1	1	1	6
頓野	11	8	3	6	1	2	2	1	34
上頓野	1	6	1	1	3	0	0	1	13
下境	3	1	0	0	2	0	2	1	9
中泉	1	2	1	1	1	0	0	0	6
合計	19	24	15	16	10	5	8	5	102
割合	18.6%	23.6%	14.7%	15.7%	9.8%	4.9%	7.8%	4.9%	100.0%

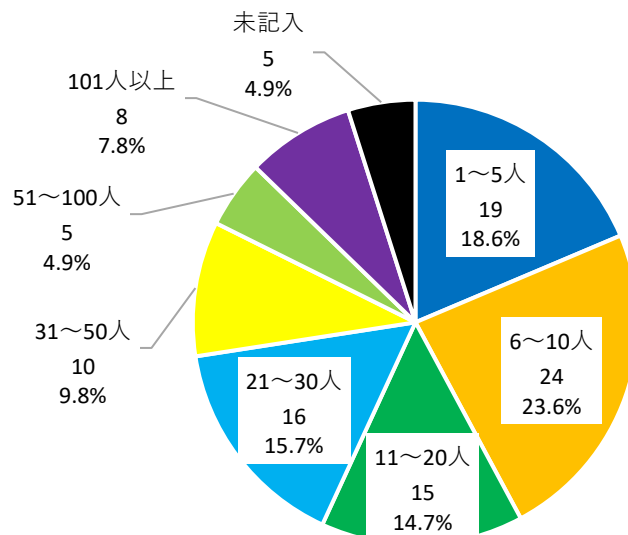


図 9.13 事業所の浄化槽の処理人員数

(4) 質問 4. 浄化槽を設置してから何年くらい経過していますか

浄化槽を設置している事業所 102 件のうち、浄化槽の経過年数が 16 年以上を経過している事業所の割合が約 56%と最も多い。一般的な浄化槽の機器設備類の耐用年数 15 年を超過しているため、一般住居と同様に老朽化が進んでいることが考えられる。

表 9.18 事業所の浄化槽の経過年数

行政区						合計
	0～5年	6～10年	11～15年	16年以上	未記入	
直方	0	0	0	0	0	0
山部	0	1	1	2	0	4
上新入	3	4	1	16	2	26
下新入	0	0	1	2	0	3
植木	1	0	0	0	0	1
感田	1	1	1	3	0	6
頓野	4	6	3	21	0	34
上頓野	3	4	0	5	1	13
下境	3	1	1	4	0	9
中泉	0	0	2	4	0	6
合計	15	17	10	57	3	102
割合	14.7%	16.7%	9.8%	55.9%	2.9%	100.0%

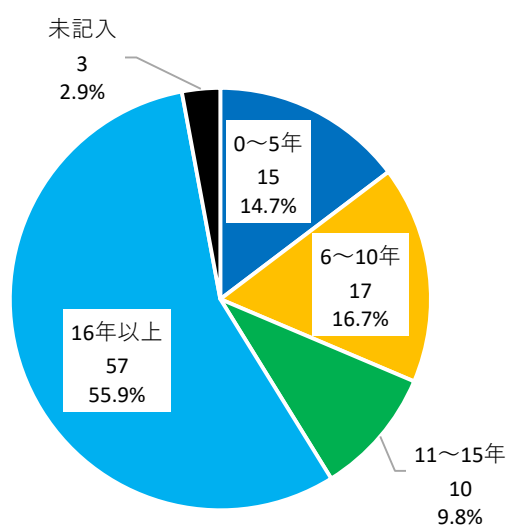


図 9.14 事業所の浄化槽の経過年数

(5) 質問 5. 全ての事業所の方にお尋ねします。事業所のある地域に下水道が整備された場合、下水道への接続を希望されますか？

a) 全体

接続を希望する事業所は約 41%、希望しない事業所は約 53%であり、一般住居と同様に希望しない事業所の方が多い。

表 9.19 事業所の接続希望状況

項目	希望する	希望しない	未記入	合計
事業所数	88	113	14	215
割合	40.9%	52.6%	6.5%	100.0%

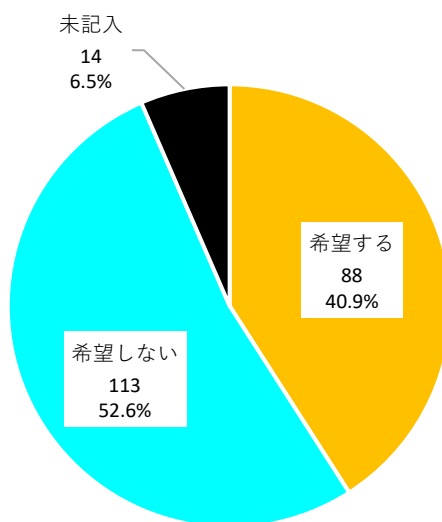


図 9.15 事業所の接続希望状況

b) 行政区別

行政区別の接続を希望する事業所は、一般住居と同様に感田が 50%と半数を占めているが、その他の行政区では希望しない事業所の方が多い。

表 9.20 行政区別接続希望状況

行政区域				合計	希望する割合	希望しない割合
	希望する	希望しない	未記入			
直方	1	2	0	3	33.3%	66.7%
山部	4	7	0	11	36.4%	63.6%
上新入	19	18	4	41	46.3%	43.9%
下新入	3	4	1	8	37.5%	50.0%
植木	0	1	0	1	0.0%	100.0%
感田	6	4	2	12	50.0%	33.3%
頓野	33	40	2	75	44.0%	53.3%
上頓野	7	17	0	24	29.2%	70.8%
下境	9	13	3	25	36.0%	52.0%
中泉	6	7	2	15	40.0%	46.7%
合計	88	113	14	215	40.9%	52.6%

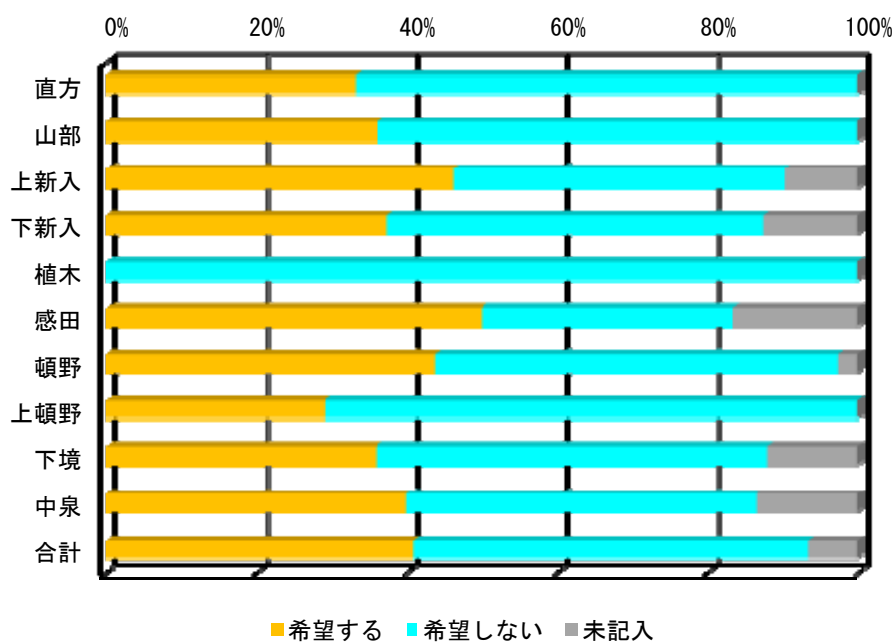


図 9.16 行政区別接続希望状況

c) 処理方式別

処理方式別の接続を希望する事業所は、単独浄化槽の事業所が約 49%と最も多く、次いでくみ取りの事業所が 40%、合併浄化槽の事業所が約 39%を占めている。

表 9.21 処理方式別接続希望状況

処理方式				合計	希望する割合	希望しない割合
	希望する	希望しない	未記入			
くみ取り	43	58	5	106	40.6%	54.7%
単独浄化槽	22	21	2	45	48.9%	46.7%
合併浄化槽	22	31	4	57	38.6%	54.4%
未記入	1	3	3	7	14.3%	42.9%
合計	88	113	14	215	40.9%	52.6%

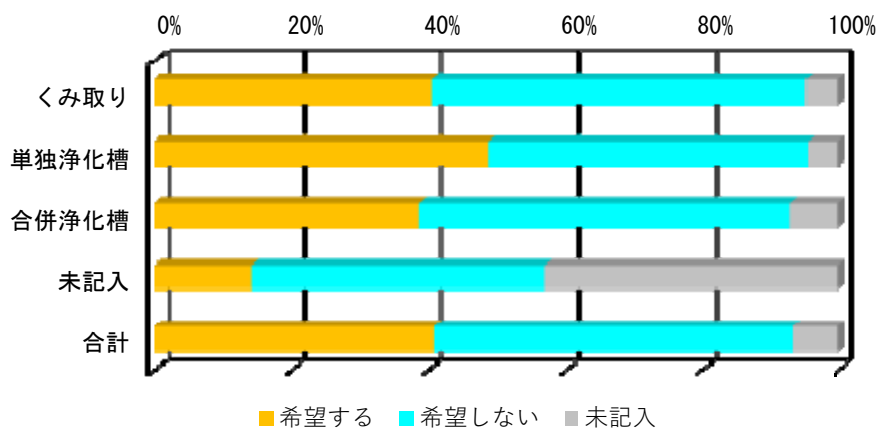


図 9.17 処理方式別接続希望状況

9.3 自由記述欄のコメント

自由記述欄に書かれたコメントの件数は、一般住居が 3,242 件のうち、978 件であり、事業所が 215 件のうち、45 件であった。これらの中で、主な意見を以下に示す。

表 9.22 主な自由記述欄のコメント

分類	下水道 接続希望	種別	自由意見
一般住居	希望する	費用	費用負担が重いのは気がかりである。 今後の生活年数を考えた時に投資コストメリットがあるかは重要となる。
			費用負担が高すぎるので補助金を少しでも出してほしい。
			事前に工事費用の見積金額と工期の提出をお願いします。
		期間	1年でも早く整備してほしいと思います。
			今回の見直しで当地区は何年頃に整備することになるのか？
			早い時期（5年以内）に工事に取りかかって頂けると思っている希望すると思いました。 10～20年先に工事にかかるのであれば接続を希望しないと思います。
			工事の地区ごとの計画、現在の進捗状況を市報等に掲載してほしいです。
		施工性	地形上、家と擁壁との間が狭いので工事ができるかが心配です。
		その他	下水道接続に関してのメリットを明確に知りたい。
	希望しない	費用	「受益者負担金」「排水設備設置工事費用」が高い。金額の根拠がわかりません。
			当家は築30年以上経過しており、費用負担を考えるとなかなか賛成しかねる。 下水道と浄化槽の費用比較もしていただければ、より判断しやすい。
			下水道化することによる費用が大きいですので躊躇してしまいます。 現状、困ったことがないので変更するメリットがわかりません。
		期間	下水道整備がいつまでに完了するのがわからない。
			もっと早く下水道整備計画の見直しを行い、下水道の整備を進めるべきだったと思います。
		浄化槽 設置済み	浄化槽を設置して1年も経過しないのに下水道を整備されても、そちらに接続する必要がない。 今の浄化槽で特に不便を感じていないので、今のままで良いと思っている。
		その他	下水道接続時についての条件が変わった場合は、今後のこともあり希望する場合もあります。
事業所	希望する	費用	下水道にして欲しいが、負担金が高過ぎる。費用負担について、一度詳しく説明をしていただきたいと思います。
		期間	1日も早く下水道に接続できることを期待しています。 店舗がある地域の活性化のためにも必要だと思います。
	希望しない	費用	高額な受益者負担金となるためすぐに決定できる案件ではない。
		浄化槽 設置済み	現状浄化設備がありますので、このままで大丈夫です。

9.4 アンケート調査結果概要図

アンケート調査結果を次頁の図 9.18 に示す。

